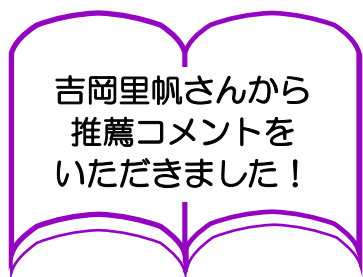




PRESS RELEASE

京都文学賞

Kyoto Literature Award



吉岡里帆さんから
推薦コメントを
いただきました！

令和2年11月20日
京都市文化市民局
京都文学賞実行委員会

担当：文化芸術都市推進室文化芸術企画課
電話：366-0033

第1回京都文学賞（一般部門）最優秀賞受賞作 『羅城門に啼（な）く』が、11月26日に刊行！

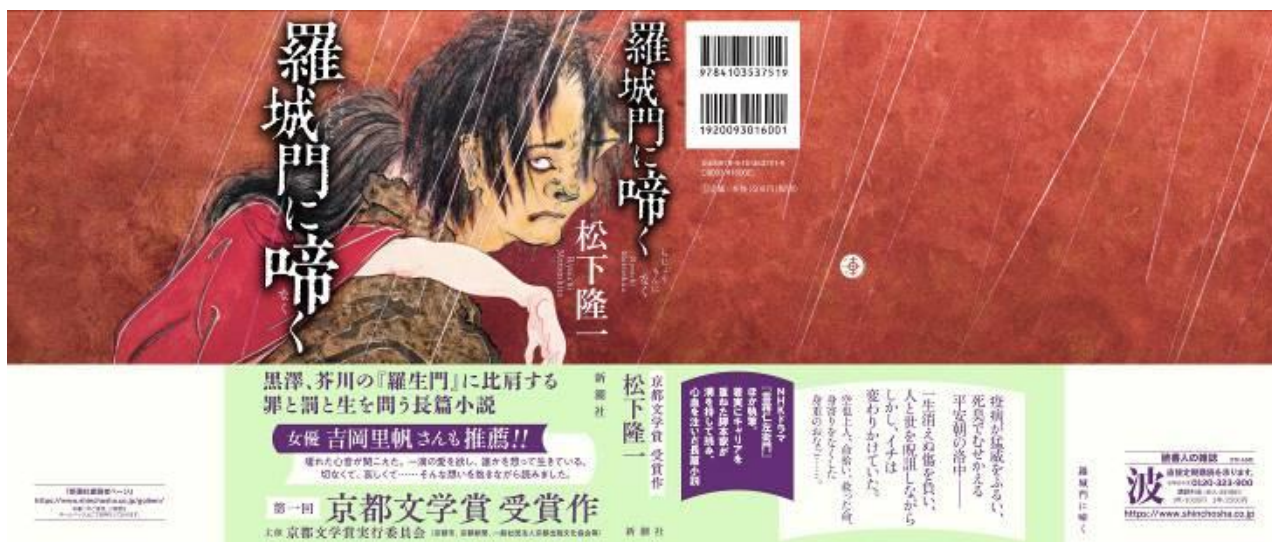
京都市では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の発信等に寄与するため、昨年度、京都文学賞実行委員会を立ち上げ、「京都文学賞」を創設しました。

この度、第1回京都文学賞の応募総数537作品の中から、一般部門最優秀賞を受賞した『もう森へは行かない』（松下隆一著）について、書名を『羅城門に啼（な）く』に改題し、協力出版社である新潮社から11月26日（木）に刊行されます。

記

新潮社から
11月26日刊行！

1 書籍について



書名 『羅城門に啼（な）く』（『もう森へは行かない』を改題）
作者 松下 隆一（まつした りゅういち）氏
出版社等 新潮社，定価1,600円（税別）
刊行日 令和2年11月26日（木）
装画 服部 しまり 氏
推薦コメント 吉岡 里帆 氏（俳優）

2 著者プロフィール 松下 隆一 氏

1964年、兵庫県生まれ。京都市在住。
脚本家／作家。日本シナリオ作家協会会員。
KYOTO 映画塾卒業。

『二人ノ世界』のシナリオで第10回日本シナリオ大賞佳作入選。第9回テレビ朝日シナリオ大賞最終選考候補。
主な作品に、小説『二人ノ世界』（河出書房新社）、ノンフィクション『異端児』（PHP 研究所）、『星を抱いた男』（PHP 研究所）他。脚本作品に、映画『獄に咲く花』『氷川丸ものがたり』／ドラマ『天才脚本家 梶原金八』『雲霧仁左衛門3・4・5』他。映画、ドラマ、舞台などのシナリオ執筆多数。

2020年『もう森へは行かない』で第1回京都文学賞一般部門最優秀賞受賞。



3 装画



<服部 しほり氏のプロフィール>

1988年京都市生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻日本画修了。
「東洋画の神髄は線である」を信条とするように、日本画の古典技法を活かしつつ、独創的なモチーフを取り入れた墨線の映える線描作品を展開し、日本画に新しい刺激を加え続けている。

京都、岐阜、東京などで個展・グループ展に多数参加しており、近年では海外にも発表の場を広げている。また、昨年9月に世界遺産二条城で開催された「artKYOTO」をはじめ、アートフェアにも多数の作品を出品している。

時代を超えた日本画線描の魅力を現代に蘇らせ、伝統と革新が交差する独自の絵画世界を創出する、現代の日本画壇を

牽引する若手作家として、今後益々の活躍が期待される。

2020年「京都市芸術新人賞」受賞。

3 推薦コメント 吉岡 里帆（よしおか りほ）氏（俳優）

しわが 暖れた心音が聞こえた。ひとしづく 一滴の愛を欲し、誰かを想って生きている。
切なくて、哀しくて……そんな想いを抱きながら読みました。

<吉岡 里帆氏のプロフィール>

1993年京都市生まれ。

映画『天地明察』にエキストラ出演したのをきっかけに、演劇に興味を持ち、大学時代から東京に通い、芝居を学びながら演劇活動始める。

2015年上京し、NHK連続テレビ小説『あさが来た』で注目を集め、同年、結婚情報誌『ゼクシィ』の9代目CMガールに抜擢される。ドラマ『時効警察はじめました』（19/EX）や映画『Fukushima 50』（20）をはじめ、数多くの映画、CM、舞台などで活躍。

2020年11月20日から公開の、秋田男鹿を舞台とした映画『泣く子はいねえが』では、主人公の妻を演じる。

